



世界が
てんでばらばらで
悪いわけではない

少女と夏の終わり

石山友美 第一回監督作品

第25回 東京国際映画祭 日本映画・ある視点部門 正式出品作品

菅原瑞貴 上村愛 直原薫 亀島聡介 瀧山セイキ 大島葉子 倉地純平 佐藤敏雄 森谷勇太 友谷六五 加治木均 中野のリ子 山下ポニー
監督・脚本・編集：石山友美 撮影・脚本・編集：佛願広樹 企画協力：桑尾賢哉 | 2012年 | 日本 | カラー | HD | 16:9 | 92分

騒々しい夏の日々、人知れず少女は大人になる

www.shoujotonatsunoowari.com



ちよっぴりおかしくて、切ない 小さな村のドタバタ劇と少女達の成長物語



山村に暮らす二人の少女の心と身体の成長を、周囲の大人たちの悲喜こもごもと、伝説が宿る豊かな山の変化などと共に、ユーモアを交えて描いた群像エンターテインメント。雑然とした社会のなか、ふとした出会いが思春期の子供の想像力を刺激し、大人よりも大きな視点で世界を見つめる瞬間の訪れを、丹念に描いた意欲作。監督は本作がデビュー作となる石山友美。

総勢50名を越える個性的な役者たちが独創的なアンサンブルを奏でる快作!!

中学生の瑞樹は身体の成長に心がついてゆかず言葉にならない不安を抱えている。そんな瑞樹の悩みに対し、親友の薫は気丈に振る舞うが、夏休みが終わり新学期を迎えると、それまで自分に向けられていたはずの同級生の視線が、瑞樹に向かっていくことに気づく。そして薫は瑞樹に恋心を寄せる浩にある嘘をつくのだった。

一方、村では山の木が枯れたり温泉ランド建設を巡る村長選挙が近づいたりと皆忙しい。加えて森林の調査のため東京から研究者(日高)までやってくる。村人達の騒々しい噂話に薫の嘘が絡まっていたとき、事態は思いもよらない方向へ向かってゆく。そして、迎えた村長選挙当日、瑞樹と薫が下した決断とは・・・。



観終わってもずっと心に居座って離れない。幅広い視野で、神話をうまく使い現代における人間と自然の関係といった大きなテーマを扱っていることも感動的だが、とにかく最後のシーンが素晴らしい！少女達の未来への歩みが美しく、心を揺さぶられる。

——カート・ヴォース(映画監督『ストラッター』)
 沢に水が流れ、空に霧が上がる山間の共同体。噂と昔話。熊も山の神様もよそ者も前科者も選挙活動も、繰り返される営みの中の一つではない。これまで教えきれないほどの少女は自らの意思で外に出る。これまでに開かずに、少女達がそうしてきたように、その美しさを更に開かせて、一歩を進む。大人へと身体が変化を遂げるあの瞬間の少女の発光。その一瞬の美しさを、克明に捉えたこの作品を、夏の終わりに見届ける。それはとても幸せなことです。

——中西佳代子(ライター・編集)

森に囲まれた限界集落に残った、製材所と床屋の娘との友情と嫉妬を主軸に、外延的に拡がる世界への不安と期待が、瑞々しくかつ緩急自在に描かれ、大型新人監督出現の手応えを十分に感じさせた。

——鎌田慧(ルポルタージュ作家)

少女と夏の終わり

出演：菅原瑞貴 上村愛
 監督・脚本・編集：石山友美
 撮影・脚本・編集：伊願広樹
 企画協力：桑尾賢哉
 © Phony Paper



www.shoujotonatsunoowari.com

9.21(土)-10.11(金)
 9/21(土)~10/4(金) 16:50
 10/5(土)~10/11(金) 19:00

当日一般1,500円 学生1,200円 中高シニア1,000円
 <前売鑑賞券(1,200円) 発売中>



ポレポレ東中野

TEL 03 3371 0088
www.mmjp.or.jp/pole2/
 JR東中野駅西口改札北側出口より徒歩1分
 地下鉄大江戸線東中野駅A1出口より徒歩1分

